

1ターン就農から周年栽培体系を確立  
～ストレスフリーで農業を楽しむ～

たかし

中本 誉さん(鬼北町(旧広見町))

1985年生まれ  
鬼北地区認定農業者等連絡協議会青年部 副部長



### ☆経営概況☆

水稲 2.5ha、きゅうり 20a、ピーマン 10a、ほうれんそう 30a、だいこん 10a、なばな 30a を夫婦 2 人で協力して栽培しています。また、地域から頼られ、水稲の作業受託等も行っています。

### ☆ここがポイント☆

#### ■都会から愛媛へ1ターン就農！

兵庫県で塗装工の仕事をしていましたが、経営主である自分が考えて仕事ができることや、自由なイメージのある農業に魅力を感じて、農業研修制度が充実している鬼北町での就農を決意しました。繁忙期の作業は大変ですが、栽培品目や作業時間、休日等を自由に決められる農業という仕事は、ストレスフリーで最高です！

#### ■効率の良い栽培体系を目指して！

就農開始時は土地が 30a ほどしかなく、その面積でもお金が取れるミニトマトやピーマン等の野菜を栽培していました。現在は、地域の担い手として任される土地も増えている中で、無理なく 1 年間にリレーできる品目、栽培体系を考えています（春：田植え、野菜定植 → 夏：野菜収穫 → 秋：稲刈り、野菜定植 → 冬：野菜収穫）。栽培方法等に関して、これといった強いこだわりはありませんが、地元のベテラン農家の方やメディアからの情報収集は欠かさずに行い、良いと思ったものや魅力があるものは積極的に取り入れるようにしています。

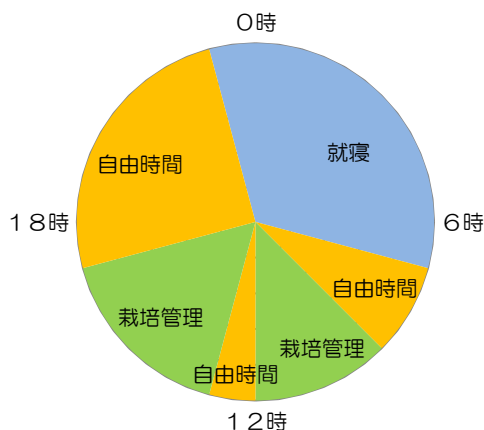


農作業（稲刈り）の様子



収穫したピーマンと園地の風景

【一日のライフスタイル（一例）】



【普段の生活について】

鬼北地域の活性化や自身の情報収集のため、**青年部の役員活動や地域のイベント等**に積極的に参加しています。それらの活動で繋がった農家とは、農閑期の仕事の手伝いだけでなく、プライベートでも仲良くしています。

自由時間のほとんどは、子どもとの遊びや習い事の時間にあてています。**子ども達の笑顔を見ると一日の疲れが吹き飛びますし、また頑張ろうという気になれます。**

【一週間のライフスタイル（一例）】

月	火	水	木	金	土	日
【繁忙期】	← 収穫・出荷 →					← 休日 →
【普通期】	※悪天候の日や祝日等で適宜休田を作っています。					← 休日 →
	← 栽培管理 →					



娘とのスリーショット♡



休日には家族で旅行に！

☆これからの夢や目指すもの☆

農業は**やりたい時にやりたい事ができる仕事**だと思います。しかし、この「自由な農業」を実践していくには、家族の協力や技術力が必要だと思います。「自由な農業」という形を目標に、**楽しく農業をしていくことを生涯貫き**、家族で仲良く、ストレスフリーで過ごしていきたいです。

☆メッセージ☆

**自分の性格によって経営スタイルを変えられるのが農業の魅力**だと思います。気分がのらない日は遊べばいい。寒い日はこもればいいし、暑い日はBBQをすればいい。忙しい時期もありますが、遊び中心の時もあり、楽しんで農業をやっています。あまり難しく考えずにその時その時を楽しみましょう！**楽しくないと農業じゃない！**